

「イラン映画を福岡の宝物に(AIFM)」プロジェクト東京上映会

The Archiving of Iranian Film Masterpieces in Fukuoka Project

モフセン・マフマルバフ監督作品セレクション

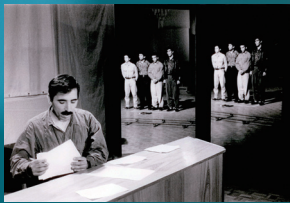
# Mohsen Makhmalbaf Selection

デジタルリマスター版上映とオンライントーク

日程：2023年2月1日(水)～2月4日(土) 4日間

会場：アテネ・フランセ文化センター(東京・御茶ノ水)

東京都千代田区神田駿河台2-11 アテネ・フランセ4F  
定員130席(新型コロナウイルスの感染状況により席数を制限する可能性あり)



福岡市総合図書館は、アジアフォーカス・福岡(国際)映画祭で上映されたアジア映画のアーカイビングを行い、日本とアジアの国々との文化交流の一翼を担って来た。その中には、多くのイラン映画の名作が含まれている。映画祭が終了した現在、その志を継続すべく立案されたのが「イラン映画を福岡の宝物に(AIFM)」プロジェクトである。今回は、福岡市総合図書館に寄託・寄贈されることとなった

モフセン・マフマルバフ監督の4作品をデジタルリマスター版で上映。  
マフマルバフ監督のオンライントークも予定している。

なお、最終日には、『グリーン、ホワイト、レッドーイラン映画の歴史を求めてー』を特別上映



■上映作品 (5作品/デジタルリマスター版/日本語字幕)

モフセン・マフマルバフ Mohsen Makhmalbaf 監督作品

『タイム・オブ・ラブ』 TIME OF LOVE (1991)

『ワンス・アポン・ア・タイム、シネマ』 ONCE UPON A TIME, CINEMA (1992)

『サラーム・シネマ』 SALAAM CINEMA (1995)

『パンと植木鉢』 A MOMENT OF INNOCENCE (1996)

■特別上映

アボルファズル・ジャリリ Abolfazl Jalili 監督作品

『グリーン、ホワイト、レッドーイラン映画の歴史を求めてー』 GREEN, WHITE, RED (2017)

主催：「イラン映画を福岡の宝物に(AIFM)」プロジェクト

ATHÉNÉE FRANÇAIS アテネ・フランセ文化センター  
CULTURAL CENTER

共催：日本映像学会アジア映画研究会

Organizer: The Archiving of Iranian Film Masterpieces  
in Fukuoka Project(AIFM)  
Athénée Français Cultural Center

Co-organizer: Asian Cinema Study Group of the Japan Society  
of Image Arts& Sciences

協力：福岡市総合図書館

コミュニティシネマセンター

映画美学校  
THE FILM SCHOOL OF TOKYO

スモールトーク

マフマルバフ・フィルム・ハウス

With the Cooperation of: Fukuoka City Public Library  
Japan Community Cinema Center  
The Film School of Tokyo  
Small Talk  
Makhmalbaf Film House

## モフセン・マフマルバフ Mohsen Makhmalbaf

1957年にテヘランの貧しい下町に生まれる。弁護士である義父の影響を受けて15歳で高校を中退し、パーレビ王朝打倒の反体制運動に加わる。17歳の時に警察官から銃を奪おうとナイフで襲い逮捕される。未成年であったため死刑を免れ、イスラム革命で釈放されるまで4年半の獄中生活を送る。革命後は政治活動から離れて文化活動に転じ、作家、ラジオ・プロデューサー、映画監督として活躍。革命後のIran映画ニューウェーブの創始者の一人となる。

Iran政府による検閲に抗議し、2005年の大統領選挙後にIranを離れる。現在、映画監督、脚本家、プロデューサーとして活躍し、世界で最も影響力のある映画監督の一人である。2015年に第72回ベネチア国際映画祭でロベール・ブレッソン賞を受賞。

作家としては「Iranのスタインベック」とも呼ばれ、著書に『アフガニスタンの仏像は破壊されたのではない 恥辱のあまり崩れ落ちたのだ』『闇からの光茫 マフマルバフ、半生を語る』（共著）等がある。

主な映画作品は『ボイコット』（85）『ザ・ヘドラー/行人』（87）『サイクリスト』（89）『タイム・オブ・ラブ』（91）『ワンス・アポン・ア・タイム、シネマ』（92）『サラーム・シネマ』（95）『ギャッペ』（96）『パンと植木鉢』（96）『キシュ島の物語』（99）『カンダハール』（01）『独裁者と小さな孫』（14）。



### 上映プログラム

2023年2月1日(水)

14:20 『サラーム・シネマ』(90分/DCP)

16:20 『ワンス・アポン・ア・タイム、シネマ』(92分/DCP)

18:00- トーク:四方田大彦 (映画誌・比較文学研究者)

19:30 『パンと植木鉢』(78分/DCP)

2月2日(木)

14:40 『タイム・オブ・ラブ』(70分/DCP)

16:20 『サラーム・シネマ』(90分/DCP)

18:00- トーク:市山尚三

(東京国際映画祭プログラムミキ、ディレクター)

19:30 『ワンス・アポン・ア・タイム、シネマ』(92分/DCP)

2月3日(金)

14:30 『パンと植木鉢』(78分/DCP)

16:20 『ワンス・アポン・ア・タイム、シネマ』(92分/DCP)

18:00- トーク:ショレ・ゴルバリアン

(映画プロデューサー)

19:30 『サラーム・シネマ』(90分/DCP)

2月4日(土)

15:30 プレゼンテーション:山口吉則(「Iran映画を福岡の宝物に(AIFM)」プロジェクト代表)

『グリーン、ホワイト、レッド—Iran映画の歴史を求めて—』(75分/DCP)

17:30 『タイム・オブ・ラブ』(70分/DCP)

19:00- オンライントーク(東京—ロンドン)

モフセン・マフマルバフ監督

司会:石坂健治

(日本映像学会アジア映画研究会代表)

※全作品日本語字幕 ※全作品デジタルリマスター版  
※トークは本特集のチケットをお持ちの方はご入場になれます。  
※先着順/入替制(チケットは当日初回の20分前から当日上映分を販売いたします)

■入場料 1回券=一般 1,200円/シニア・学生 1,000円  
アテネ・フランセ文化センター会員 800円  
3回券=一般・シニア・学生・会員共通 2,400円

## タイム・オブ・ラブ

### TIME OF LOVE

1991年/カラー/70分/DCP

監督・脚本・編集:モフセン・マフマルバフ

撮影監督:マームード・カラリ

音楽:ジャハングール・ミルシェカリ

出演:シバ・ゲレデ、アブドルラフマン・パレイ、マンデレス・サマンジ

ラル、アケン・トゥンジ、ジャラル・コスローシャヒ

主人公グゼルをめぐる3つの恋愛物語。グゼルと夫であるタクシー運転手、グゼルの愛人となる老人の4人が同様なシチュエーションからスタートして、それぞれの心の世界の変化によって全く異なった物語へと展開していき、トルコのイスタンブールで撮影され、95年のカンヌ映画祭「ある視点」部門で上映された。



## サラーム・シネマ

### SALAAM CINEMA

1995年/カラー/90分/DCP

監督・脚本・編集・出演:モフセン・マフマルバフ

撮影監督:マームード・カラリ

音楽:ネザムディン・キアエ

音楽:シャハルダッド・ロハニ

出演:アザデ・ザンゲネ、マリアム・ケイナン、フェイゾラ・ゲシュラギ、

ハミド・ゲシュラギ、ハムド・ゲシュラギ

マフマルバフ監督が「映画生誕100年を記念して俳優志望の人々を題材とした映画を作る」と新聞に広告を出すと、オーディション当日数千人の人々が殺到して大混乱となる。監督は既にその模様を撮影し始めていたのだ。参加者は監督の前で、歌い、泣き、笑い、機関銃乱射により倒される演技をしていく。



## グリーン、ホワイト、レッド

### —Iran映画の歴史を求めて—

#### GREEN, WHITE, RED

2015年/カラー/75分/DCP

監督・脚本・編集:アボルファズル・ジャリリ

撮影監督:メーディ・イルベイギ

音楽:モスタファ・ファゼリ

スチール:キアン・アパスアバディ

出演:マヤ・デヘガニ、ファルディン・シャーホセイニ

主人公は映画大学の最終学期に在籍しており、卒業論文の準備をしなければならない。彼女はボーイフレンドを故郷に訪ねて、彼が持つIran映画史の本をすべて借りてテヘランに戻る。列車の中で本を読んでいると、革命前からの映画史における傑作のシーンが次々と目に浮かんでくる。2015年に釜山映画祭が企画した作品の完全版。



## ワンス・アポン・ア・タイム、シネマ

### ONCE UPON A TIME, CINEMA

1992年/カラー/モノクロ/92分/DCP

監督・脚本・編集:モフセン・マフマルバフ

撮影監督:ファラジ・ヘイダリ

音楽:マジッド・エンテザミ

メイクアップ:アブドラ・エスカンダリ

音楽:アーマド・アスカリ

出演:エザツラー・エンテザミ、メーディ・ハシエミ、モハマド・アリ

ケシャヴァルズ、アクバル・アブディ、ファデメ・モタメドアーリヤ

1900年、ガージャー朝の第5代国王の時代にIranに映画が紹介される。映画を見てヒロインに恋をした国王は、スクリーンから飛び出てきた女優を追いかけ回し、俳優になることを熱望するが…。喜劇仕立ての映画の中にIran映画史における名作の断片をふんだんに取り入れ、Iran映画の歴史に対してオマージュを捧げた作品。



## パンと植木鉢

### A MOMENT OF INNOCENCE

1996年/カラー/78分/DCP

監督・脚本・編集・出演:モフセン・マフマルバフ

撮影監督:マームード・カラリ

音楽:ネザムディン・キアエ

音楽:マジッド・エンテザミ

出演:ミルハディ・タイエビ、アリ・バクシー、アマル・タフティ、マリ

アム・モハマド・アミニ、モハラム・ゼイナルザデ

マフマルバフ監督は高校を中退してパーレビ王朝打倒の反体制運動に加わり、17歳の時に警察官から銃を奪おうとナイフで襲うが失敗し逮捕される。監督と警察官本人が、20年前に二人の人生を運命的に結びつけた重要な事件を映画で再現する。個人史、ドキュメンタリー、フィクションの絶妙な組み合わせによる作品。



## アボルファズル・ジャリリ Abolfazl Jalili

1957年Iran中央部のサヴェー生まれ。70年代から80年代で自主映画製作を始め、Iranテレビに入ってドキュメンタリーや短編映画を作る。第3作の『かさぶた』(87)で注目を集め、後にIran映画を代表する監督のひとりとなった。主な作品に『春へ』(85)『ダンス・オブ・ダスト』(92)『本のカンデル』(95)『トウルー・ストーリー』(96)『少年と砂漠のカフェ』(01)『ハーフェズ ヘルシャの詩』(07)。

■会場&お問合せ

アテネ・フランセ文化センター (御茶ノ水)

東京都千代田区神田駿河台2-11 アテネ・フランセ4階

(JR/地下鉄 御茶ノ水・水邊橋駅より徒歩7分)

TEL.03(3291)4339 (13:00~20:00)

<http://www.athenee.net/culturalcenter/>

Email: [infor@athenee.net](mailto:infor@athenee.net)



\*新型コロナウイルスの感染状況により、席数の制限をさせていただく場合がございます。上映前日にホームページでご確認いただくか、お問合せ下さい。(アテネ・フランセ文化センター)